参考様式第２９及び参考様式第３２の別添３

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 － 2 － 23
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	防集元地を活用した緑地基盤整備事業
全体事業費	408,811千円

【事業概要、基幹事業との関連性】

本事業は、集約した防集元地を活用して、隣接予定の中浜小学校跡をシンボルとする遺構祈念公園との一体的な利用により、山元町民のコミュニティ向上を図るための緑地の基盤を整備するもの。本事業地においては、当該公園の利用と併せ、祈念目的の植栽や維持管理等による町民の防災教訓・意識の醸成を通じて、コミュニティ向上が図られる。また、植樹帯が健全に生育すると将来的には津波減衰効果を発揮し、住宅地や農地に利用され元々海岸防災林の整備が進まない中浜地区及び磯地区における防災緑地としても期待がされる。

また、本事業は、本町内の復旧復興事業で発生し、各種復興事業で利用していたものの、土砂を新たに調達する事業計画がなく、残ってしまった再生土（津波堆積土等）について、迅速にかつ経済的に処理することで、本町における復興事業の円滑な進捗と経費抑制を図るものでもある。当初、県道事業の盛土材として再生土が利用される予定であったが、コスト縮減のため利用されなくなり、残置されていたが、当該残置場所において復興事業（海岸防災林整備事業、C-1圃場整備事業）がH29年度から工事着手されることになったため、早急に再生土を処理する必要があった。山元町には土捨て場がなく、土捨て処理には大きな経費がかかることから、本事業において緑地の基盤材として再生土を活用し、より安価な経費で本町の復興まちづくりに資する事業を行う。

◆事業内容

・面　　積 ； 中浜地区　7.7ha、磯地区　2.2ha　　計　9.9ha

・盛 土 量 ； 中浜地区　85,000m3、磯地区　22,700m3　　計　107,700m3

＊いずれも津波堆積土等を使用し、土砂購入費を抑制

・施工内容 ； 盛土工、残存物撤去工　（構造物設置はない）

・事 業 費 ； 408,811千円

（盛土工　221,059千円、残存物撤去工　6,827千円、一般管理費・消費税等　180,925千円）

・事業工程 ； 平成28年12月　～　平成29年3月

作 業 項 目	平成28年度				平成29年度											
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
残存物撤去工	→															
盛　土　工		→	→	→												